

# 150th

## 松ヶ岡開墾

Anniversary since 1872

2021年  
令和3年

## 松ヶ岡開墾 150年のあゆみ

戊辰戦争を戦った旧庄内藩士たちが  
当時の一大輸出品であった  
生糸の生産により  
国の近代化に貢献しようと  
刀を鋏に持ち替えて  
松ヶ岡の開墾を始めてから。  
今年で150年の節目を迎えます。  
開墾士により形成された集落で  
今もなお存続しているのは  
全国で松ヶ岡集落のみといわれています。

## MATSUGAOKA HISTORY GALLERY

①  
開墾には旧庄内藩士約3,000人が参加しました。また、庄内一円から物品や財政的な支援の他、多くの農民らが労力して開墾に協力しました。(松ヶ岡開墾場蔵)



1868 | 明治元年

1871 | 明治4年

1872 | 明治5年

庄内戊辰戦争 終結

菅実秀、西郷隆盛と会談、開墾について相談

藤島村にあった旧本陣を移築し、開墾の本陣とする

開墾創業し、約58日間で後田山106haを開墾 ①

老君酒井忠発公が開墾地を「松ヶ岡」と命名 ②

高寺山、馬渡山、漆原山、黒川山204haを開墾

西郷隆盛、開墾士に「気節凌霜天地知」の箴を贈る ③ ※教訓

開墾した311haに桑の植え付け、茶の種まきを行う

蚕室4棟完成し、養蚕を開始 ④

西郷隆盛に茶銘を依頼「林月、水蓮、白露、都山、敦本、原泉」

蚕室4棟増築

大久保利通、三条実美 松ヶ岡来場

蚕室2棟増築し、計10棟の蚕室となる ⑤

明治天皇東北巡幸 天皇名代北白川宮能久親王 松ヶ岡ご来場

現新海町に製糸工場(松岡製糸所)創設

生糸を初めて横浜に出荷

松ヶ岡神社を経塚丘の現在地に遷座

1875 | 明治8年

1877 | 明治10年

1881 | 明治14年

1887 | 明治20年

1889 | 明治22年

1890 | 明治23年

1895 | 明治28年

1905 | 明治38年

1921 | 大正10年

1926 | 大正15年

1941 | 昭和16年

1946 | 昭和21年

1947 | 昭和22年

1950 | 昭和25年

1971 | 昭和46年

1989 | 平成元年

2001 | 平成13年

2016 | 平成28年

2017 | 平成29年

2021(令和3)年

1868



②  
旧庄内藩主酒井家11代酒井忠公が開墾士を励ましたにやってきて、木札に「松ヶ岡」と書いて立てたところから、この地は「松ヶ岡」と呼ばれるようになりました。(松ヶ岡開墾場蔵)

③ 「開墾士の苦勞は語らずとも天と地が知っている」という意味。毎年4月7日の開墾記念日に本陣に掲げられます。  
(酒井忠篤筆、松ヶ岡開墾場蔵)



④ 庄内一円から多くの従業員が集まり、養蚕に携わりました。糸をとるだけでなく、蚕種800枚を製造して横浜に出荷したり、その品質の高さが好評となり、海外からの注文もくるようになりました。  
(鶴岡市郷土資料館蔵)

⑤ 10棟のうち、5棟が現存。棟梁は、旧西田川郡役所や旧鶴岡警察署合といった鶴岡を代表する建築物を手がけた高橋兼吉らが務めました。



1900

1900

「松ヶ岡開墾場綱領」制定 ⑦

開墾場創業70年記念式並びに開田竣工式挙行 開墾歌制定

菅原兵治 東北農家研究所創立

昭和天皇東北巡幸 松ヶ岡ご来場

貞明皇后 松ヶ岡ご来場

開墾場創業100年維新記念式挙行 記念碑「天地知」建立

国史跡に指定

開墾場創業130年記念式並びに本陣解体修理竣工式挙行

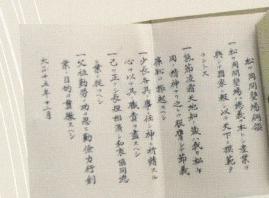
天皇皇后両陛下(現上皇后皇后両陛下) 松ヶ岡ご来場

日本遺産「サムライゆかりのシルク」認定

三笠宮彬子女王殿下 松ヶ岡ご来場

開墾場創業150年

2000



⑦ 開墾場に関わる人々の心構えを示したもの。  
「氣節凌霜天地知」の箴(しん)が盛り込まれ、今も開墾記念日に唱和されるなど、その精神は現代へと受け継がれています。  
(松ヶ岡開墾場蔵)

空からみた松ヶ岡開墾地

開墾1期  
明治5年

松ヶ岡開墾場

開墾2期  
明治6年

開墾3期  
明治6年

\*明治20年に売却

